

平成22年度コミュニケーションチーム活動方針について

1 目的

水源環境保全・再生施策の取組みについて、県民への周知の充実を図るため、県民への情報提供を行うとともに、効果的な広報のあり方等について検討を行う。

2 活動の考え方

【しずくちゃん便りについて】

- ・ 引き続き、「しずくちゃん便り」の発行を行う。(年5回程度を予定)
- ・ 今年度についてはモニターの結果のお知らせとともに、次期5か年計画策定の情報(骨子案・素案について、パブコメのお知らせなど)についても掲載する。

(主な意見)

- ・ 「県民会議を知っていますか」などのアンケート的な特集を組む。
- ・ 各委員への配布部数を再度確認し、増やしていくべきである。
- ・ 効果的な配布場所の選定を行う必要がある。(新たに、市民活動サポートセンターへの配布を検討。)

【しずくちゃん便り以外の普及啓発について】

- ・ 各チームメンバーの意見を踏まえ、今後の県民への情報提供、広報のあり方について、実現可能性や費用対効果を含めた検討を行い、実現可能なものから実施していく。

(主な意見)

- ・ 広報については、委員自らができるものから取り組む必要がある。
- ・ 県民会議委員による、学校への出前授業を実施する。
- ・ 水源環境税を活用した事業のPRとして、看板を設置する。
- ・ 事業モニターの現場をDVD作成。市役所ロビー等で流すと効果的でないか。

水源環境保全・再生かながわ県民会議ニュースレター 「しずくちゃん便り」第15号 配布先一覧			
	配 布 先	部数	備考
1	県民会議委員	670	
2	水源環境保全・再生施策推進会議構成員	26	
3	県政情報コーナー等の指定配架機関	390	
4	税制改革等情報コーナー	500	
5	市町村水源環境保全・再生施策主管課等	275	
6	市町村広報主管課	380	
7	水道事業者広報主管課	80	
8	市民事業支援補助金交付市民団体（25団体） （H20年度のみ交付団体も含む）	405	
9	県民会議委員OB・OG	300	
10	アジェンダ推進センター	15	
11	県民活動サポートセンター	230	
12	県内図書館	375	
13	予備（各種イベント分を含む）	154	
	合 計	3,800	

水源環境保全・再生かながわ県民会議委員名簿（22年4月30日現在）

（区分ごとに50音順）

	氏名	役職等	配布部数
有識者	浅枝 隆	埼玉大学大学院理工学研究科教授	15部
	天野 望	旧津久井町長	15部
	木平 勇吉	東京農工大学名誉教授	15部
	田中 充	法政大学大学院政策科学研究科教授	15部
	中村 道也	特定非営利活動法人 丹沢自然保護協会理事長	15部
	沼尾 波子	日本大学経済学部教授	15部
	萩原 なつ子	立教大学社会学部社会学科教授	15部
	林 義亮	神奈川新聞社 論説副主幹	2部
	原 慶太郎	東京情報大学総合情報学部長	15部
	堀場 勇夫	青山学院大学経済学部教授	1部
関係団体	飯島 智幸	日本労働組合総連合会神奈川県連合会副事務局長	100部
	片山 幸男	酒匂川水系保全協議会副会長（酒匂川水系農業用取水組合長）	15部
	加山 俊夫	神奈川県市長会（相模原市長）	1部
	倉橋 満知子	桂川・相模川流域協議会代表幹事	15部
	新堀 豊彦	特定非営利活動法人 神奈川県自然保護協会理事長	30部
	瀬戸 孝夫	神奈川県町村会（山北町長）	1部
	高橋 幸一	社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会監査担当役員	100部
	蓮場 良之	神奈川県森林組合連合会代表理事専務	15部
	増田 清美	神奈川県政モニターOB会副会長	40部
	横田 和浩	社団法人神奈川県商工会議所連合会専務理事	15部
公募	井伊 秀博	横浜・川崎地域	15部
	北村 多津一		15部
	木下 奈穂		15部
	久保 重明		20部
	高橋 弘二	横須賀・三浦地域	50部
	岩渕 聖	県央・湘南地域	15部
	小林 信雄		15部
	柳川 三郎		15部
	高橋 二三代	県西地域	40部
	井上 伸康	県北地域	15部
合計			670部